

白子小学校保護者 様

令和4年度 和光市立白子小学校 学力・学習状況調査結果について

4・5月に実施した全国学力・学習状況調査（6年生対象）及び埼玉県学力・学習状況調査（4・5・6年生対象）について本校の概要をとりまとめましたので、お知らせいたします。今後は、検証結果を基に学力向上プラン（最後に掲載）を見直し、児童の更なる学力向上に努めてまいります。

保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

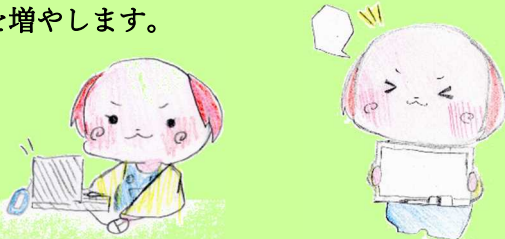
《各教科別の概要》

【国語】

昨年度、調査を受けた5，6年生の結果を見ると、多くの児童がかなりレベルアップしており、学年相応の伸びが見られました。しかし、昨年同様に「文章を読んで自分の考えを書くこと」「短い作文を書くこと」に関して課題が見られました。

<学校>では…

- ・発表場面を設定し、自分の考えを発表する力と友達の考えを聞く力を養います。
- ・語彙力を増やし、文章力を育成します。
- ・書き方を例示し、作文力を向上させます。
- ・毎週木曜に「朝タイピング」をし、語彙力を増やします。



<ご家庭>では…

- ・ぜひ、読書を進めてください。自分の考え方が広がります。また活字に慣れ、「読むこと」が得意になります。
- ・短文でいいので、文章を書かせてください。書く習慣がつくと、作文が得意になります。



【算数】

算数は、「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」すべてにおいてきわめて良好な結果でした。本校の児童は算数が得意なようです。課題となることは、応用問題の「図形」や「データの活用」です。

例えば「図形」では、三角形の面積の求め方は理解していても、三角形の向きをあまりなじみのない向きにされると、正しく面積を求められないことがあります。図形問題では、底辺や高さを正確にとらえる必要があります。

また「データの活用」では、グラフや表の数値からどんなことが読み取れるのか考え、言葉で表現する力が求められています。答えがいくつも存在する算数にも慣れていきたいです。

<学校>では…

- ・既習事項を使い、未知の問題を解決できるようにしています。
- ・既習事項がすぐに振り返れるように、ノートを活用する習慣をつけています。
- ・問題を解く過程を大切にし、自分の考えを発表するようにしています。



<ご家庭>では…

- ・既習事項がいつでも使いこなせるように何度も復習をしてください。
- ・問題を解く際、時間がかかっても、間違えてしまっても、お子様が努力した過程を褒めてください。そして、どこができなかったのか見つけて、一緒に解いてください。「できた」という経験が、自信につながり、お子様の学力をアップさせます。



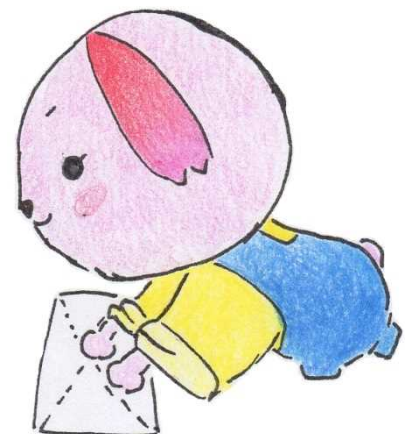
【質問紙調査結果の概要】

今回の質問紙調査では、主に学習面についての質問が多かったです。本校は「よい成績をとるためにがんばる」「自分にはよいところがある」「失敗を恐れずに挑戦している」という項目がとても高かったです。

しかし「面倒で、つまらない問題は途中でやめてしまう」「難しい問題はあきらめてしまう」という残念な項目も高かったです。また学年が上がるにつれて、「将来の夢や目標をもっている」という項目が低くなっている特徴もありました。

普段の生活において、「学校生活は楽しい」「自分のことを友達は認めてくれている」「時刻を守る」「ルールを守る」「そうじをしっかりとっている」という項目も高かったです。

家庭でのインターネットを使用する時間は、「1～2時間以内」という回答が多かったです。





今年度課題 「学んだことを活用しよう！」を合言葉に読解力、作文力を向上させ、自分の考えを伝える

既習事項なくして、 問題解決ならず！

既習事項を使わなければ、未知の問題は解決できないという意識をもたせる。



主体的な学びを促し、 深い思考を育むべし！

- ・「ものわかりの悪い教師」を演じ、児童の考えから授業を進め、児童の主体性を促す。また児童の「何となくこうかな？」という発言を明確にすることで、児童の深い思考を生み出す。
- ・「振り返り」を大切にし、児童一人一人の成長を読み取る。
- ・「ノート」を見返し、わからないことを調べる習慣をつける。



ICT上達は 一日にしてならず！

- ・調べる習慣を身につけ、問題解決能力、情報活用能力の育成
- ・コミュニケーション能力の向上
- ・毎週木曜日「朝タイピング」



低学年の方策

- ・自ら字形を整えて書こうとしている児童、問題解決に取り組んでいる児童を全体の場で称賛する。
- ・既習の漢字は、文章を読んだり、書いたりする中で活用し、定着を図る。
- ・発表の場面をつくり、自分の考えを発表する力と相手の思いを読み取る力を養う。

中学年の方策

- ・生活と学習の両面で多様な経験をさせ、思考力を養う。日常的に漢字を使い、語彙を増やし、文章力を育成する。
- ・国語辞典を日常的に使用する。音読や読書の推進
- ・授業での書く活動をしっかり行う。
- ・話の聞き方を指導する。



高学年の方策

- ・音読に力を入れ、想像力を養い、読解力の育成をする。また書き方を例示し、作文力を向上させる。
- ・各教科での「まとめ」をしっかりと行い、課題に正対させるようにする。
- ・既習事項を使わなければ、未知の問題は解決できないという意識を持たせる。